



# れんめい千葉

千葉県看護連盟

## CHIBA NURSING FEDERATION

ISHIDA Masahiro Masahiro ISHIDA  
Masahiro ISHIDA ISHIDA Masahiro  
**幸せ実感、看護の力で。**  
Masahiro ISHIDA ISHIDA Masahiro  
ISHIDA Masahiro Masahiro ISHIDA  
Masahiro ISHIDA Masahiro



千葉県看護連盟 会長  
近藤 明子

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには健やかに、平成最後の新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は看護職にとって大変喜ばしいことが重なりました。

皆様も、ご存知の通り、看護の代表である**あべ俊子**衆議院議員が**外務副大臣**に、**たかがい 恵美子**参議院議員は**厚生労働副大臣**、そして**石田まさひろ**参議院議員は**厚生労働委員長**に就任いたしました。

これは、日頃から、看護職議員は政治家として、常に自分を律し、国民のために活動されていることを高く評価された結果だと思えます。

日本は、今や、少子超高齢・人口減少社会へと急速に進んでおり、世界の各国からも注目されています。そんな中、看護職代表議員が国の根幹である大事な役職につき、重責を感じながらも誇りと自信、やりがいを持って活躍しています。

そのような、国会議員の皆様は、私達は心を一つにして、改めて、しっかり応援していなくてはと強く感じています。

昨年末には、青年部、教育委員の企画で「人生100年時代看護職はどう取り組むか?」、キャッチフレーズは「輝かそう!! 看護師免許」と若者らしい研修会を開催致しました。「パネルディスカッション」では、「自分の将来を考えるきっかけとなった!」「僕も青年部に入会できますか?」等と若者からの声が聞かれ、企画者の熱い思いが参加者に伝わったのではと嬉しく思っております。

そんな、若者の気持ちもしっかり受け止め、本年の看護連盟の最大の目標である、「石田まさひろ参議院議員」の名前を千葉県内、津々浦々まで広め、看護職の社会的評価の底上げに繋げようと思っております。どうぞ、皆様お1人、おひとりの応援を心よりお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

# 2019

# 新年の



日本看護連盟 会長  
草間 朋子

## 穏やかな中に、力強さを秘めた看護連盟

健やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

4月には統一地方選、7月には第25回参議院選を控えた中で、日本看護連盟も、爽やかに明るく元気に新春を迎えました。

昨年は、あべ俊子先生が外務副大臣、たかがい恵美子先生が厚生労働副大臣、石田まさひろ先生が厚生労働委員会委員長に就任され、看護連盟にとっては最高にうれしい年となりました。各先生方の実力はもとより、皆様の日ごろの活動の成果により日本看護連盟および各都道府県の看護連盟の行動力、力強さを社会に示すことができましたことに心から感謝申し上げます。

今年も、看護・看護連盟の底力を発揮し、看護職を代表する国会議員の先生方を確実に国政の場に送り、しっかり活動していただき、専門職として最良の看護を提供できる環境を整えていく政策を実現していきましょう。選挙権は国民に与えられた権利です。「選挙に行こう」を合言葉に、目標達成に向けて活動してまいります。



たかがい 恵美子  
参議院議員  
厚生労働副大臣

千葉県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

さて昨秋の内閣改造において、厚生労働副大臣を拝命しました。就任に際しては多方面から、心温まる激励を賜り身に余る光栄に存じます。平素にも増して、細部に心を尽くし職責を果たす所存です。

本年は皇室典範特例法により今生天皇が退位され、新たな御代に移ることとなります。また、2040年を照準とする社会保障制度構築のため、さらなる改革に着手する年でもあります。

いのちの最前線に立つ看護職にとって、まさしく働き方改革元年とも呼ぶべき重要な転換点となることが予測されます。一人一人の個性が活かされ、社会保障の実現者として生涯に渡る社会貢献ができるよう、これからも、しっかり現実を踏まえた対策を実現して参ります。

みなさまの真心に改めて感謝を申し上げますとともに、新年が健やかな笑顔に包まれるよき年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。

千葉県看護連盟の皆様、新年おめでとうございます。平素からの温かいご支援に改めて感謝申し上げます。お陰様で先の国会より、参議院厚生労働委員長を拝命いたしました。保助看法を含む厚生労働法制の真ん中で仕事をしています。委員会はまさに与野党論戦の場であって、国会議員の主戦場と言えます。しかし、国民にとっては議論が深まり法案がより良いものになることこそ重要ですから、委員長としてしっかりとその職責を果たしていく所存です。

この5年半、国会のない時は土日も含めて看護の現場を訪問し、皆様の声を国政に反映させて参りました。特に今は書類・記録の削減に取り組んでいます。皆様からいただく生の声が私の原動力です。今年もどんどんお聞かせください。皆様が元気になる政策を推進することで、日本を元気にしていきます。



石田 まさひろ  
参議院議員  
厚生労働委員会委員長

# ご挨拶



公益社団法人  
千葉県看護協会 会長  
寺口 恵子

新年あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
近藤会長をはじめ連盟会員の皆様には、看護協会事業に対するご理解・ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年10月の第4次安倍改造内閣では、看護の代表である高階恵美子議員が厚生労働副大臣に、あべ俊子議員が外務副大臣に、石田まさひろ議員が厚生労働委員会委員長にそれぞれ任命されました。今後の看護行政の推進に大きな力になるものと期待しているところでございます。

また、今年は参議院議員選挙が予定されております。貴連盟の御尽力により、引き続き看護の代表が国政で活躍されることを心よりお祈り申し上げます。

千葉県看護協会におきましては、「看護の専門性と職能団体としての力を発揮し、県民の健康な生活を支えよう」のスローガンのもと、時代の動向を読み、これからの看護職が果たすべき役割を見極めながら、各事業を進めていく所存です。どうぞ、昨年と変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、貴連盟の益々のご発展を心より祈念申し上げます。



あべ 俊子  
衆議院議員  
外務副大臣

皆様お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

千葉県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は内閣改造に伴う人事で、外務副大臣を拝命いたしました。安定した外交による国の安全は社会保障の基礎と考え、本年も引き続き、頂いた公務に邁進する所存でございます。

新年を迎え、我が国が抱える2025年問題への思いが一層強くなるのを感じております。看護の対象はさらに拡大し、求められるケアも多様化しております。社会の大きな変化から国民の健康を守るためには、看護師皆様のお力が本当に必要です。やりがいのある看護を、いつまでも続けることができる制度づくりに、全力で取り組んで参りますので、引き続き忌憚ないご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝と貴連盟のますますのご発展を心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

初当選から、医療分野をはじめ、待機児童、特別養子縁組、生活困窮者の就労支援等の政策課題に、強い思いを持って取り組んでまいりました。

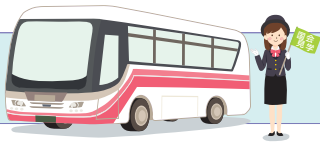
これからも「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、看護の代表の一人として、看護と政治をつなぐ役割を果たすため、現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映してまいります。

そして、政治家として、光の当たaraぬところにあたたかな光を当てていく政治を忘れずに、女性の視点、母親の視点、看護の視点を生かし、皆さまのご期待と信頼に応えてまいります。全国の看護職の皆さまへのご恩返しをしてまいります。

本年もご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



木村 やよい  
衆議院議員



# 国会見学

H30年9月14日(金)



9月14日、国会見学ツアーが催行されました。今回参加人数は57名、16施設から参加がありました。

行きのバスの中では青年部長より看護連盟の役割について説明を受けながら国会議事堂に向かいました。

国会議事堂の中では、「ここテレビで見たことがある場所だ!」「あ、あの名札の議員知ってる!」などといった声飛び交っていました。実際にここで自分達が選んだ代表が活躍し、議会が開催され、法律や制度が誕生していると思うと、より政治を身近に感じることができたようでした。

国会見学後に、千葉県の国会議員の先生方と、石田議員、たかがい議員、木村議員よりお話を伺いました。その後、石田議員とたかがい議員の事務所を訪問させて頂きました。各議員の先生方からのメッセージに身を乗り出して聴いている方も多く、先生方の熱い思いが参加者に届きました。

国会見学スケジュール終了後、築地の「すしざんまい」にてお寿司を美味しくいただきました。築地を自由散策したあと、帰路に付きました。とても充実した一日でした。



玄々堂君津病院  
鳥飼紀子 野村アコ

忙しい中、沢山の議員さんが挨拶に来てくれて看護職について理解を示してくれたことは力になりました。たかがい先生の「理想を掲げるだけでは現場が我慢して頑張るだけになる。必要な所には診療報酬が付くべきでありきちんと声をあげていこう。」という話が印象的でした。看護職の私達が、自分の役割を理解し、仕事の責任を果たすためにも、問題意識を持ち行動することが大切だと感じました。また、石田先生のお話を聞いて年代や生活に合わせた働き方を実現するためにも、柔軟な発想で現場を変えていくことも重要であると学びました。普段聞けない貴重なお話を聞く機会となり、刺激を受けました。国会見学や築地散策なども楽しみ、有意義な1日でした。また機会があれば参加したいと思います。



## 選挙に行こう! 投票しよう!



前回の参議院選挙では、看護師を代表して立候補した議員の獲得票数は、看護師の就業者数の1割程度にしか過ぎませんでした。

他の医療職種では就業者数を超える獲得数で当選を果たしています。看護環境を変えていくには、高い得票数で代表者を当選させる必要があります。

私達個人の力は弱いものですが、1人1人の言葉や行動がまとまれば社会の情勢を左右する世論という力になります。一人の力を大きな政治力にするために、選挙で1票1票を積み上げていきましょう!

### ～1人の力を大きな政治力にするために、私たちが出来る事～

- ① 友人や同僚に、看護職を代表して選挙に立候補している人がいる事を知ってもらう
- ② 勤務で選挙に行けないと言う人がいたら、期日前投票があることを伝え、投票に行ってもらう



「私なんて…」 「私が行かなくても…」と思わずに、自分達の大切な1票を無駄にしないようにしましょう!



看護連盟  
動画チャンネル  
QRコード

石田まさひろ議員が取り組む4大テーマ

社会保障

誰もが自分らしく生きる

財政金融

人々の生活を支える

科学技術

未来の社会をつくる

子育て支援

未来を守る

「今日もいい看護が出来た!」と  
実感するための、職場環境づくりを!

- ①働き続けられる職場づくり
  - 多様な勤務形態の推進
  - 仕事と私生活の両立が出来る職場づくり
  - 学童保育や病児保育対策
  - 中堅・ベテランの負担軽減
  - 家族の介護支援の充実
- ②生涯現役、看護師人生をまっとう
  - 出来る事を無理なく生涯続けられる職場環境づくり
- ③男子高校生にとっても魅力的な職場づくり
  - 男性看護職の確保対策
- ④潜在看護職の職場復帰
- ⑤教育と臨床の距離感を縮める
  - 看護基礎教育の大学化促進
  - 卒後臨床研修制度の義務化
  - 看護系大学や看護師養成所での多様な学生の受け入れの推進

看護がもっと社会に貢献でき、  
社会全体から尊重される仕組みづくりを

- ①看護の知恵や技術を国民一人一人と共有
  - 看護の知恵と技術を国民と共有する仕組みづくりによる国民一人一人のセルフケア力を高める
  - 義務教育に健康教育を充実させる
- ②健康増進による医療費の適正化
- ③安心・安全に子供を産み育てられる環境を整える
- ④チーム医療・チームケアの推進
- ⑤看護職の給料カーブの見直し
  - 責任と能力に見合った給与体系の見直し

石田まさひろ議員の看護場面での取り組み

いい看護を提供するために  
看護の質と評価を高めるチャレンジを

- ①看護の質の評価にチャレンジ
- ②専門性の高い看護の拡大
- ③大規模な看護研究



人々の暮らしに寄り添った、  
創造性あふれる看護の提供を

- ①看護職の確保がきわめて困難な場所への派遣
  - 公的な看護職の支援体制の整備
  - 災害時の看護職の派遣制度の整備
- ②療養病床や施設の看護の充実
  - 後方病院や療養病床の看護体制の充実
  - 介護保険施設での看護・介護職、特に夜勤体制の確保
- ③誰もが堅守を受けられる仕組みづくり
  - e-learningなどを使った研修の推進
  - 地方に配慮した研修の受け方の工夫
- ④在宅ケアの充実とナーシングホームの創設
  - 在宅ケアの思い切った充実
  - ナーシングホームの整備
- ⑤精神科医療の充実
  - 身体ケア、精神ケアに従事する職種間の交流—
  - 身体精神合併症への対応強化
  - 精神科の看護職配置などの充実

連絡先

石田まさひろを応援する会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目8-2 日本看護連盟内  
Tel : 03-6712-5565 FAX : 03-3407-3627  
E-Mail : info@kango-renmei.gr.jp

石田まさひろ政策研究会  
http://www.masahiro-ishida.com



討議資料

# 関東甲信越ブロックポリナビワークショップ in 長野 H30年10月6日（土）

今回のテーマは各都県の魅力あるポリナビ活動を見て・聞いて・体験しよう!!

各ブースでは、看護連盟の活動内容、活動の必要性について、寸劇や、クイズ形式の参加型でわかりやすく伝えていました。グループワークでは看護業務問題を取り上げ、就業前残業について意見交換を行いました。勤務前残業が長いが残業が取れない、情報収集も勤務の一部のため時間を設けることが必要である。研修については、研修は聞くだけでなく話し合う機会を多く設けること、一方的にならない研修が必要であることを、石田まさひろ先生、草間看護連盟会長も加わり活発な意見交換が行われていました。



## 石田まさひろ先生の講演

科学技術が発達してきている中で、人でできる看護を考えていけないといけない。

平均寿命100歳となる中で、年金、福祉体制の検討、80歳まで働くためにはどうしたらよいか。

20代、50代、80代看護師と一緒に働けること。先輩後輩と一緒に看護を語ることが必要で自分自身を磨く事につながる。患者の気持ちに寄り添える看護が大事であることを熱く語られていました。



## はじめて参加された1、2年目看護師

### 参加者の感想

看護連盟はどのような活動をしているのかわからなかったが、ゲーム感覚で活動内容をたのしく知ることができました。



勤務表作成体験に参加したが希望休があると勤務表作りが難しいんだなと感じました。

新しい医療機器、医療介護ロボットなど見れてよかったです。

ポリナビに参加し、看護連盟活動を楽しむことができました。主催の青年部の方々ありがとうございました。



## ナースマン研修会

H30年12月1日（土）

今年のナースマン研修では、「人生100年時代、看護職はどう取り組むか」をテーマに開催しました。千葉県看護協会会長の寺口先生より「看護の将来ビジョンと看護の多様性」について、保健・医療・福祉のパラダイムシフトの説明の後、我々看護職が取り組む課題や活動の方向性について学びました。講演の後はグループワークを行い、自身の将来ビジョンを考え、意見交換と発表を行いました。グループワークの中では「これからも看護師としての技術や知識を習得したい」「キャリアアップしたい」など、自身の将来に対する希望だけではなく、「家族もいるのでこのままの給料だと不安」「転職しているかもしれない」といった不安の声も多く聞かれていました。次のお題である「将来の自分のために今出来ること」については「語学の勉強!」「他職種との連携の強化!」と、より具体的な行動計画の立案ができていました。さすが、ナースマンですね!

グループワーク後は「自分自身が医療の多様性を受け入れ行動することの重要性を再認識した」「色々な意見を聞き、リフレッシュになった」などの感想をいただき、実りの多い研修となりました。



### パネルディスカッション

<テーマ> 「人生100年時代、看護職はどう取り組むか」

座長/ケアプロ代表取締役 川添 高志    パネリスト/看護管理者(看護師長) 宮内 武利    看護教育者(看護学部助教) 古山 陽一  
パネリスト/訪問看護ST代表取締役 藤野 泰平    専門看護師(精神看護) 佐藤 順子    再生医療開発(看護師) 鈴木 佑

## 看護協会・看護連盟合同研修会

H30年10月13日（土）

看護協会・看護連盟合同研修会

青年部 稲塚 正晴

H30年10月13日に看護協会・看護連盟合同研修会に参加させていただきました。福井トシ子看護協会会長や参議院議員の石田昌宏先生のお話を伺うことで、幾つもの新たな気付きを得られ、非常に勉強になった一日でした。

その中でも福井トシ子会長が繰り返し看護連盟の重要性を訴えていたことは、特に印象に残っています。福井会長のお言葉からは、協会と連盟が協力して看護政策の実現に努めようという強い決意を感じることができました。

我々もその気持ちに応えるべく、より一層の努力を行わなければならないと感じました。来年7月には第25回参議院議員選挙が始まります。看護協会と看護連盟ともに協力し合い最高の結果を目指したいと思います。



# 関東甲信越ブロック看護管理者等政策セミナーに参加して

H30年11月24・25日(土・日)

## 「医療政策の動向と課題」

千葉県看護連盟 幹事 宮内武利 (東邦大学医療センター佐倉病院)



第5回目を迎える政策セミナーに参加させて頂きました。  
私は、政策研究大学院大学の島崎謙治氏の「人口動態は嘘をつかない。人口減少・超高齢化（多死社会）を迎える将来、地域で支える医療・看護を本当に提供することができますか」という問いかけに戸惑いを隠せなかった。私達は、これからを見据えて今出来る事、残せる事は何かを考えなければいけません。看護-政策-政治に強い結びつきがあり、今の看護実践ができる環境があるということを理解することができた研修でした。

## 「日本看護協会の看護政策」について

千葉県看護協会 事業部長 井上恵子



今回、この研修に参加し、人口構造の変化とそれに伴う地域医療・社会保障の変化など、幅広い視点で医療や介護の政策を考えなければならないことを再確認する機会となった。2025年に向けた日本看護協会の看護政策では、地域完結型の医療への転換が求められる中で看護の将来ビジョンを「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」とし、地域包括ケアシステムの構築を推進している。地域医療における看護職の役割は重要であり、訪問看護師の増員と在宅・施設等で働く看護師の資質向上を図る必要があると強く感じる研修であった。

## グループワーク「看護現場の諸問題を政策実現につなげる」

千葉県立鶴舞看護専門学校  
竹中 敦子

日々の現場で課題に思うことを持ち寄り、何がどう問題となっているのか、どう変えていきたいのかなど話し合った。途中、石田議員も輪に入って下さり、「そこを変えていけたら、現場では働きやすくなるね!」と、課題を抽出していった。現場で、困って悩んでいるだけではダメ。人々の健康的な暮らしに貢献する看護師たちがイキイキと働けるように、問題意識を持ち仕事をしていきたいと改めて思う貴重な機会だった。

## 「看護政策実現のために」

帝京大学ちば総合医療センター 入江昭子



看護管理者等政策セミナーに参加し、一人一人の小さな力でも看護連盟に集結する事で、問題の解決に繋げていく重要性和政策提言の必要性を再認識しました。  
日本看護連盟幹事長の「働く場所には常に課題があります。看護に関連した課題は、私たち、看護職の力で解決していく」という言葉が強く心に残りました。  
少子高齢社会、人口減少の中、時代に合った看護を提供できる仕組みづくりと、そのための環境、働き方、看護教育等、現場の問題を発信する事や看護と政治の関係を正しく理解する事が必要です。  
看護管理者は、現場の問題を的確に捉え、分析し、シンプルに「物事を正しく伝えていくこと」が必要であると感じた貴重な時間でした。

COLUMN

## みんなを元気に する広場

## 第2回「マインドフルネス」 Part.2



今回は、マインドフルネス瞑想を使って「今 ここ」にただ集中している心の状態により・集中力が高まる・浄化されストレスが解消される・洞察力、直観力、創造力が高まる、良く眠れるなどの良い効果が得られることを説明しました。

今回は具体的な方法を紹介します。

基本的には、**姿勢を正して、ただ自分のしている「呼吸」に意識を向ける**だけです。

### ・姿勢を正す

床もしくは椅子でも良いので座って行います。骨盤を起こして安定させ背骨を伸ばし、体を軽く揺すって体の中心を探ります。肩の力を抜き顔の力も抜いていきます。目は軽く閉じるか、半目でどこか一点を見つめるようにします。

### ・呼吸に集中する

呼吸は意識せずに、いつも通りの呼吸で行います。呼吸から意識が離れたら、離れたことに気づいてまた呼吸に意識を引き戻していきます。(雑念は当たり前にある事で、マインドフルネスはそれに気づいて戻すと言う過程が重要です) コツとしては、呼吸を意識するために、鼻先に入り出る息の流れを観察したり、息でおなか膨らんだりへこんだり、自分が呼吸を観察しやすいところを1個見つけて観察することです。

### ・時間、場所

慣れてきたら日常生活の場面でも呼吸に意識を向けて行きます。仕事の合間、電車や信号の待ち時間、眠る前、イライラしていることに気が付いた時なども行ってみましょう。

広報委員会でもマインドフルネスに挑戦してみました。最初は雑念が入り呼吸を意識する事の難しさを実感しました。でも、これが実践できるようになると、リラックスと集中のスイッチの切り替えがうまくいき、メリハリのある生活が送れそうです!



関東では厳しい寒さが続いて  
おりますが、会員の皆様はいか  
がお過ごしでしょうか。今号が  
平成最後のれんめい千葉となり  
ます。新たな元号でのれんめい  
千葉もどうぞ宜しく願ひ申し  
上げます。  
広報委員会

# 31年度会員募集

会員数

2,888名

日本看護連盟会費 / 5,000円  
千葉県看護連盟会費 / 5,000円

あなたの入会が活動を支えます

現場の“声”を聞かせてください。

●看護連盟会員入会受付中!

●賛助会員も受け付けています。



賛助  
会員数

117名

年会費 / 1,000円



問合せ先 / 千葉県看護連盟事務局 〒260-0843 千葉市中央区末広5-8-6 大松ビル302 TEL:043-305-1213 / FAX:043-305-0205  
ホームページ <http://www.kangorenmei-chiba.jp/>

全国 10,000 床以上の医療機関・介護施設で採用

シワにならない  
医療用ボックスシーツ

## ぴったりシーツ

特許取得済

- ◆ 日常の手直しが要らず、肌触りの良いニット素材のボックスシーツ
- ◆ 縦横に伸びるので、自動体位変換機能付きエアーマットにも使えます
- ◆ 人手不足の解消にも貢献し、快適なベッド環境をお届けします



エアーマット使用例

リネンリース対応

看護職

の皆さまへ

医療機関、介護施設、訪問看護・訪問介護の  
事業所にサンプル持参で説明に伺いますので、  
お気軽にお申し付けください

お問合せは

☎ 048-953-3100

お問合せ  
サンプルのお申し込みは

日本訪問看護財団  
法人会員



株式会社 信 公

埼玉県三郷市泉 3-3-17  
TEL : 048-953-3100

<http://www.t-shinkou.co.jp/>  
E-mail : [info@t-shinkou.co.jp](mailto:info@t-shinkou.co.jp)

## 睡眠セミナー

### 無料サービスのご案内

東洋羽毛

良質睡眠でキラキラ輝く私に!

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実した  
セミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと  
健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よりよく眠る為のヒント 睡眠 6 カ条
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法

- ★ よく眠れる、眠りのお話!?
- ★ 眠る門には福来る!
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんでいい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。

東洋羽毛北関東販売(株) 千葉営業所

千葉県佐倉市城354-8



0120-006745

